

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	総合教養	科目名	技術者のための環境問題入門	科目コード	SL801A2
配当期	前期・ <b>後期</b> ・通年	授業実施形態	<b>通常</b> ・集中	単位数	2単位
担当教員名	莫也(バクヤ)	履修グループ	選択	授業方法	講義
実務経験の内容	なし				
学習一般目標	「環境の世紀」と呼ばれる21世紀、現代社会において、我々は様々な場面で「環境問題」と密接な関係を保ちながら生活を営んでいます。もはや環境問題に無自覚・無関心であることはできないのです。21世紀を生きる我々現代社会に求められていることは、人間の経済活動と環境保全との調和を図り、「持続可能な社会」を構築していくことにあります。そこで本講義では、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の理解を手掛かりに、現代社会が直面する環境問題について基本的な「ものの見方」を養うことを目的とします。				
授業の概要および学習上の助言	この授業では、皆さんが日常生活を送るうえで身に付けておくべき、環境に関する基本的な問題を扱うこととします。そして、環境問題について、どのような問題点があり、それを法はどのように解決してきたか、解決しようとしているかを知ってもらうことを期待している。環境に興味・関心のある方はもちろん、あまり環境という言葉になじみのない方も、これを機会に「環境問題」への理解を深めてみましょう。				
教科書および参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定の教科書はありません。授業中にレジュメを配布します。</li> <li>【参考書】石川宗孝編『環境読本』（電気書院出版、2011年）</li> <li>宮沢栄治編『環境問題と社会』（同文書院出版、2010年）</li> <li>大塚直『18歳からはじめる環境法（第二版）』（法律文化社出版、2018年）</li> <li>日能研『SDGs（国連 世界の未来を変えるための17の目標）2030年までのゴール』（みくに出版、2017年）</li> </ul>				
履修に必要な予備知識や技能	特になし				
使用機器	特になし				
使用ソフト	特になし				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1、2、3、4、5	環境問題について理解を深め、社会で何が起きているかを理解しましょう。			
	1、2、3、4、5	環境問題に興味・関心をもち、自分の専門に引きつけて考えるきっかけをつかみましょう。			

達成度評価	評価方法	出席	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合	60	10	30					100	
	学部 D P	1.知識・理解		5	10					15
		2.思考・判断		5	10					15
		3.態度	60							60
		4.技能・表現								
5.関心・意欲				10					10	
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	出席	15回出席した場合を60満点として評価します。4回以上欠席した場合には不合格となります。								
	クイズ 小テスト	授業の後半に、授業内容の理解度を確認するため、30分程度の小テストを実施します。								
	レポート	最後の授業で、授業中に出される課題についてのレポートの作成・提出を求めます。上記1, 2, 5の観点から30点満点で評価します。								
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他									

授業明細表

回数/日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週	イントロダクション:環境問題の全体像及びその変遷	講 義	
第2週	環境問題と法の体系(環境法で何が解決できるのか)	講 義	
第3週	事件から学ぶ——大気汚染問題	講 義	
第4週	事件から学ぶ——水質汚濁問題	講 義	
第5週	事件から学ぶ——土壌汚染問題	講 義	
第6週	事件から学ぶ——化学物質・有害物質の取り扱い	講 義	
第7週	事件から学ぶ——廃棄物問題と循環化型社会	講 義	
第8週	事件から学ぶ——原子力発電と放射能汚染	講 義	
第9週	事件から学ぶ——都市景観問題	講 義	
第10週	事件から学ぶ——公共事業と環境問題	講 義	
第11週	事件から学ぶ——食品安全の課題	講 義	
第12週	環境問題と国際条約	講 義	
第13週	Society 5.0 における法・ルールの変容	講 義	
第14週	レポート作成		
第15週	レポート作成		